

## 地域薬剤師会、病院薬剤師会が生涯研修制度の自主的設定にご協力いただけませんか

薬剤師認定制度認証機構

内山 充

●わが薬剤師認定制度認証機構は薬剤師の生涯研修の信頼性を支えるために、かなりの障害を乗り越えて、生涯研修実施機関（プロバイダー）の育成と評価・認証に努めて来ました。そしてこの度、平成 22 年 7 月に、内閣府より、薬剤師生涯研修のための第三者評価認証制度として、事業の公益性、中立公正性が認められ、公益社団法人の認定を取得することが出来ました。

●医師は、医師の臨床研修の場を提供している全国 5 0 0 0 以上にも及ぶ大学及び一般病院が、今後すべて評価・認証を受けて質が対外的に保証されるようになり、医師は自由にそれらを選んで研修できる立場になることが予測されます。

看護師も、日本看護協会の全国各所の研修センター、及び全国の看護大学の大学院課程に設定されている研修コース（看護協会の認定）によって、卒後研修（法的に昨年、努力義務化されました）、及び認定看護師、専門看護師養成に対応しています。

●これらに比べると、薬剤師は医師や看護師と異なり、実務範囲が全方位であり、また新薬の進歩が激しいので、一人前の実務家として活動するには、医師、看護師以上に生涯を通じての研修が必須と考えられているにもかかわらず、薬系大学とのつながりも十分とは言えず、卒後の生涯研修の場に恵まれていない、すなわち個人の努力と地域的の孤立状態に任されていると思います。

●このような現状のもと、わが国で全国の薬剤師に対して、優れたきめ細かい生涯学習の一層の普及と地域的拡充を図るには、薬剤師自身の手による生涯研修の場の構築を進めなければなりません。特に地域の職域団体の自主、自律的関与が期待されます。

既に各地の職域団体では、第三者評価（認証）は受けていないまでも、生涯研修はもとより、特定領域認定も、さらには専門薬剤師養成も試みられ、実績も積み重ねられつつあります。

そこで、地域の都道府県単位または支部、あるいはいくつかの地域が共同した形での職域団体が、自らの責任のもと自分たちの手で、それぞれの地域における薬剤師の生涯研修の核となる研修・認定制度を始めることをお考えくださいませんか。

●ただし現在の世の中では、第三者評価なしで認定等を行っても、いずれ自己満足の独り善がりとししか見なされない時が来る恐れがあります。そこで、既に石川県薬剤師会が、当機構の認証を受けて独自の研修・認定制度を実施しておられるように、それぞれの地域の職域団体が、独立した生涯研修実施機関として認証を受けることで、地域の薬剤師の便宜を図り目が届く形で、薬剤師の生涯にわたる継続研修を支えていただきたいのです。それこそが、地域薬剤師に待望されていることではないかと考えます。

●現在進行中の各県薬・県病薬、あるいはその支部等の研修実績を見れば、準備の整ったところから順次認証を取得して自立して生涯研修制度を実施することは、さほど困難ではないと思います。またそれらの制度が互いに横断的に連携を図ることで研修効果がさらに高まると思われます。

当機構は、内閣府公益認定等委員会からのお勧めもあり、公益社団法人の職務として、質の高い研修・認定制度の育成には協力を惜しまない方針をとることとしておりますので、ご協力の程をお願い申し上げます。

(2010.11.17)